

備中 no 町家 de クラス 2022 実施報告書



(令和5年1月10日)

備中 no 町家 de クラス 2022 実施報告書 (令和5年1月10日)

実施期間

令和元年11月3日(木・祝)から11月27日(日)

開催趣旨

備中地区内の町並みに残る、文化財クラスの建築物や、「蔵・倉」、「商家」、今も暮らしの残る小さな「町家」の空間で、江戸・明治・大正・昭和・平成から令和の現代に伝わる地域の伝統的な生活文化の魅力を五感で体感していただく目的で、「町家で暮らす、懐かしい未来」を合言葉に、備中の各地で【備中 no 町家 de クラス 2022】を開催した。

開催地区とプログラム

本年度の開催地区は倉敷市／美観地区及び周辺地区・玉島・児島味野・下津井・天城藤戸、浅口市／鴨方・金光・寄島、高梁市／高梁・吹屋・成羽、新見市、総社市、矢掛町／矢掛・小田、井原市、早島町、の6市2町で8つ体験プログラムと22コースのまち歩きを開催した。

(パンフレット参照)

■総参加者は526名。(資料①プログラム参加者等実績)

内訳はプログラム参加者が 357 名、講師 34 名、スタッフ 135 名（延べ人数）。
尚、パンフレット印刷時にカーボンオフセットを付加することで、環境配慮と共に、わずかではあるが東日本大震災の被災地支援を行った。

■主催：備中町並みネットワーク／共催：備中県民局

■企画・運営：備中町並みネットワーク

・構成団体（順不同）

倉敷伝建地区をまもり育てる会・かもがた町家管理組合・NPO 法人総社商店街筋の古民家を活用する会・吹屋町並保存会・備中矢掛宿の街並みをよくする会・新見御殿町・

大谷地区元気いっばいまちづくり協議会・NPO 法人倉敷町家トラスト

一般社団法人岡山県建築士会

備中県民局・倉敷市・高梁市・浅口市教育委員会・矢掛町・総社市・新見市・井原市
早島町

■運営団体（順不同）

大谷地区元気いっばいまちづくり協議会・NPO 法人倉敷町家トラスト・かもがた町家管理組合・吹屋町並保存会・本町活性化委員会・NPO 法人総社商店街筋の古民家を活用する会・備中矢掛宿の街並みをよくする会・新見御殿町まち歩きガイドの会・倉敷市文化財保護課・倉敷伝建地区をまもり育てる会・井原地域おこし・郷土の歴史を語る会・旧山陽道小田堀越間の宿「うさぎ会」・早島観光ボランティアガイドの会・一般社団法人岡山県建築士会・新見の木づかいと木育の会木の葉 art・備中高梁守内商店・いばらアートループ商店街実行委員会・倉敷建築工房山口晋作設計室・重要文化財井上家住宅保存修理委員会・くにとのの御船を守る会・たかはしフィルムコミッション・就実大学経営学部・倉敷商業高等学校・倉敷高等学校・ノートルダム清心女子大学人間生活学科成清ゼミ

■協力団体：高梁川流域学校

■備中 no 町家 de クラス 2022 実施事務局

・備中町並みネットワーク：倉敷市本町 11-18(NPO 法人倉敷町家トラスト事務所内)

■成果と課題

2014 年「備中 no 町家 de クラス」として始まって 9 年目の開催である。今年度も昨年同様、新型コロナウイルス感染症の影響を考慮したプログラム作りを目指した。

室内での体験型プログラムは 3 密対策などの条件を満たせるプログラムとし、屋外での開放的なプログラムは、まち歩きを中心に、改めて備中地域の町並みを再発見してもらうプログラムを揃えた。備中県民局と備中地域の自治体、活動団体の協働で昨年同様コンパクトではあるが、まち歩きの視点を広げるため新たな専門家を講師に依頼して新しいコースやプログラムを揃え充実したプログラムを実施、中止したプログラムは出なかった。

今年度は地域のくらし文化の 11 のプログラムと、各地域に残る町並みの魅力を発信するため 18 地域 23 コースのまち歩きを実施することができた。

参加者について：今年度は感染症の影響はあるものの各地で様々なイベントが開催され、プログラムによっては参加者のばらつきが見えた。

教育機関、学生連携について：今年度は二つの高校、2大学との連携プログラムがそれぞれ企画され、若者の視点で新たな町並みの魅力発見に繋がった。

ほぼ完成した井上家住宅については改修が進み完成していく町家を専門家のガイドで案内ができたことは貴重なプログラムだった。また、まち歩きではワイヤレスガイドシステムが役に立ち好評だった。

アンケート（資料②アンケート）ではすべてのプログラムで大多数の参加者がプログラムに非常に満足したと答えた。また参加料も適価もしくは安いと感じており、今回の町家での体験プログラムの質を評価できるものと考えている。

年を経るごとにインターネットでの申し込みが増え、ネット8割、電話1割、FAX1割で、FAXの申し込みが少なくなっているが、ネット環境になれない参加者も少なからずおり、電話での対応はまだ必要である。受け付けに関しては丁寧な対応を心掛け、概ねスムーズに進行できた。インターン生受け入れは少なかった。

感染症の影響が不安視される中ではあったが、運営団体、地元住民、関係者及び参加者の協力のもと、3密を避けるプログラムが進められ、無事、トラブル、事故もなく事業ができた。また、次年度の開催への問い合わせもあり、期待が寄せられている。まち歩きに関してはまだプログラムの組まれていない町並みの希望があがり来年のコース選定の候補としたい。

資料①プログラム参加者等実績

地区	日時	時間	まち歩き	参加料	定員	参加者	講師・スタッフ		タイトル
会場									
浅口（幡方）	11月13日	13～15		300	要予約	14	10	かもがた町家公園交流館	町家でお茶の点て方体験
浅口（金光大寺）	11月20日	13：30～16		500円	15	10	5	真光園（受付：旧スペース金	橋本敦策と固定ワークショップ
新見（御殿町）	11月27日	①10：30～12：00 ②14：00～15：30		1500	各回10名	10	6	津國屋ギャラリー	江戸時代の情報溢れる空間で「にじみ」のひのきで「自分だけの」お箸作り体験
新見（御殿町）	11月6日	①10：30 ②13：30		3800	各回5名	10	3	元鉄匠屋「津國屋」	江戸時代のまちを歩き、江戸時代の「千屋牛」に思いを馳せる
高梁（本町）	11月19日	10時から16時		無料	11時、14時の開演あり	7	4	備中高梁 守内商店	オープンハウスと古本市～備中高梁守内商店～
井原	11月13日	13：30～15：30		1000	10	10	3	山成造作館	古材を使った小物作り
総社	11月6日	10時～12時		500円	15名	3	5	かめやれとろホール	総社商店街まちなか講座
総社	11月12日	10時～12時		3500円	15	14	4	深見井早商店	年の始まりの取説
総社	11月13日	13時～15時30分		2500円	おれのお子	11	2	旧昭和亭	昔ながらの味噌仕事（玄米味噌）
倉敷重伝地区	11月26日	10～12		1500	10名	12	5	津町の町家と周辺地区	町家再生はじめての一步～この1軒が未来を創る～
倉敷重伝地区	11月5日、6日	10、11、13：30、14：30		500円	各回10名	80	19	国指定重要文化財井上家住宅	井上家住宅完成記念見学会
集合場所									
浅口（金光大寺）	11月27日	14～16：30	●金光	1400	10	10	4	大谷みかげスクエア	食光探訪準備き体験とまち歩き
浅口（幡方）	11月13日	10～12	●幡方	800（おつめん定食）	15	4	5	かもがた町家公園	まち歩き～幡方往來～
浅口（寄島）	11月5日	10～12	●寄島	500	15	5	10	ふれあい交流館サンパレア	まち歩き～寄島～
備中高梁（城下町）	11月3日	14～16	●高梁	500円（手土産主ど）	15	8	4	高梁市役所（高梁市松原通り2043）	城下町の町割りの町家を巡る
備中高梁（城下町）	11月12日	14～16	●高梁	500円	15名	5	5	高梁市の資料館入口前（高梁市加町1306）※備中高梁駅南口	城下町の映画・アニメのロケ地を巡る
高梁（牧屋）	11月19日	13～15	●牧屋	1000	15	9	3	千夜狂草場（野牛同様）	まち歩き高梁市牧屋
高梁（成羽）	11月3日	10～12	●成羽	500円（お土産）	15名	7	4	たいこまるプラザ	津原町成羽を歩く
井原	11月13日	10～12	●井原	500	20	6	5	井原市総合福祉センター駐車場（井原町1110）	井原町商店街を歩く
新見（御殿町）	11月5日	13：30～5：30	●新見（御殿町）	500	15	5	4	新見御殿町センター	江戸～昭和初期の建物をめぐる・御殿町まち歩き町家探訪
矢野	11月26日	10～12	●矢野	500	15	15	5	矢野町家交流館	まち歩き矢野街
矢野町小田	11月20日	10～11：30	●小田	500	15	4	5	井原小田駅	旧山道道を歩く（小田宿）
総社	11月12日	10時～12時	●総社 商店街	2000円	20	3	3	旧昭和亭	総社商店街通りの町並散策
早島	11月18日	10～12	●早島	500	15	10	6	早島町中央公民館	早島不老のみちと町並み散策
倉敷（下津井）	11月19日、22日	14～16	●下津井	500	各回10	12	4	田工庫公園（いづみひろこま）・下津井瀬戸大橋の横断が	下津井田の浦踏地散策
倉敷（児島味野）	11月5日、8日	14～16	●味野	500	各回10	11	4	児島市歴史交流センター定年広場（児島味野二丁目2-54）	児島味野まち歩き
倉敷（玉島）	11月23日	13：30～16	●玉島	500	10	8	2	新堀川緑地（倉敷市立玉島区警署南側の駐車場）	玉島町並み巡り
倉敷（天城・藤戸）	11月23日	10～12	●天城・藤戸	500円	15	15	4	倉敷市立天城小学校北門	天城・藤戸歴史町並み散策
倉敷（美観地区）	11月5日	10：00～12：00	●美観地区	500	10	4	6	倉敷えびす商店街	倉敷生と歩く、美観地区探訪きツアー～Kからの旅路～
倉敷（美観地区）	11月12日	13～15	●美観地区	500円	10	6	5	NPO法人倉敷町家トラスト	知っていると思っていた倉敷の「知らない」ところを見つける
倉敷（美観地区）	11月12日	13：00～16：00	●美観地区	1000	8	7	3	日本橋土玩具館	写真を持って感じる「町家と倉敷」（距離明かすマラソンと歩く）
倉敷（中心市街地）	11月13日	10～12	●倉敷中心市街地	一般500円、乗車券500円	10	6	6	倉敷駅前口	～くらしき散歩～美観地区周辺を散策しながらSDGsを考えよう！～
倉敷（中心市街地）	11月27日	10～12	●倉敷中心市街地	500	10	6	2	NPO法人倉敷町家トラスト	歩きながら考える2011ユネスコ観光「歴史的都市環境」
倉敷（中心市街地）	11月13日	10：00～12：00	●倉敷中心市街地	500	10	10	4	NPO法人倉敷町家トラスト	空き家活用について語ろう！～大学生と語る進行中の空き家活用～

資料②アンケート

アンケート集計							
総参加者（講師、スタッフ、見学者含む）							
プログラム総参加者		357(526)名		・プログラム数は増加したが、参加数はばらつきが大きくなった。			
アンケート回答者		297名					
年齢							
10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	・昨年に比べ50代と60代が増えている ・若者のプログラムにも多様な年代の参加があった
9	6	11	20	84	108	61	
この企画を何で知りましたか？							
パンフレット	ラジオ,TV	ネット	新聞	知人から	その他	ネットでの情報提供が十分ではなかった可能性があり 未だ紙媒体の効果は大きい	
147	0	44	21	89	19		
参加したプログラムの内容はいかがでしたか？							
5	4	3	2	1	・約8割の人が最高評価(5)をつけている。 ・前年より評価が高い		
229	54	6	1	0			
どのようなプログラムがあれば参加したいと思いますか？							
修理修復	まち歩き	食文化	演奏会	教養講座	その他	・まち歩きと食文化は例年人気であるが、修理修復に関心を持つ人は、一昨年に比べて2倍以上に増えた。	
113	196	118	63	76	13		
参加費は適当でしたか？							
高い	少し高い	適価	安い	その他	・参加費については例年同様 ・準備物への要求が価格に反応している可能性があり ・参加動機と価格・内容が噛み合わない価格への不満があるようです		
5	14	200	77	1			
参加の回数について							
初めて	去年から	毎年	・昨年参加した方の半数程度はリピーターになってくれている。				
124	75	71					
*各質問に対して未回答がありアンケート回収数が合いません。							

■プログラム

- ①町家でお茶の立て方
「かもがた町家公園交流館」



- ②植木散策と剪定ワークショップ
「新光園」



- ③千屋牛
「津国屋」



- ⑤オープンハウスと古本市
「備中高梁・守内商店」



- ⑥古材を使った小物作り
「山成酒造醸造所」井原市



- ⑦総社商店街まちなか講座
かめやれとろぼーる



⑧年の始まりの設え
「深見升平商店」 総社市



⑩町家再生はじめの一步
「東町の町家」 倉敷市美観地区



■まちあるき

1. 金光（金光饅頭手焼き体験とまち歩き）



⑧井上家住宅完成記念見学会
「国重文・井上家住宅」 倉敷市美観地区



⑨昔ながらの味噌仕事
「旧堀和平邸」 総社市



2. 鴨方



3. 寄島



4. 高梁城下町



6. 吹屋



7. 成羽



8. 井原



9. 新見



10. 矢掛



1 1. 小田



1 2. 総社



1 3. 早島



1 4. 児島下津井



1 5. 児島味野



1 6. 玉島



1 7. 天城・藤戸



18. 倉商生と歩く
倉敷美観地区



19. 美観地区
インスタ映えの贈り物



20. カメラマンと歩く



21. 倉敷さんぽ・SDGsを考える
倉敷中心市街地



メディア広報について
山陽新聞、さりお、エフエムくらしき